

市内の多くの小・中学校が築 50 年程度を経過し、建て替え・改修の時期を迎えています

これからの小・中学校の建て替え・改修のモデルとなる学校が完成

特集 2

初公開

市立初施設一体型小中一貫校 望が丘小学校・中学校

問 教育政策総務課 (☎ 813・0070)

廊下に突如現る「メディアスペース」

壁一面を覆う巨大本棚。気軽に本を手にとって自然に読書や語らいが生まれます。マルチメディア機能を設け、本やメディアに触れる機会を増やすことで、生活の中で自ら学ぶことを習慣づけることができます。



各所を彩る
木製ピクトグラムや
室名プレート



体育施設も充実



日差しを取り込む「不ぞろいの窓」



開放的な「吹き抜け」の空間



全市民が利用できる
地域交流スペース

愛称 望が丘ブランチャが
敷地内にオープン！

HP 22194 問 社会教育推進課 (☎ 813・0076)



どういうところ？



学校内に

子育て世代が親子で楽しみ
保護者同士で交流できる場

図書スペース

自主学习スペース

子育てや生涯学習の講座
などの開催

により、市民が憩い、
交流できる施設です。

<開所時間>

午前9時～午後7時(第3月曜日、12月29日～1月3日を除く)

※利用登録が必要です(本人確認書類を持って来てください)。

使い方は無限大
オープンドア型の教室

国立競技場を設計した世界的建築家 隈研吾氏が設計監修



全国の教育空間のモデルに
地域のシンボルとしてだけでなく、
地域にとって大きな家のような空
間になるように設計しました。
例えば、廊下が廊下でなくリビング
のような、日本ではあまり見か
けない、インターナショナルスク
ールのような作り方をしています。
この校舎は寝屋川市の新しいア
イコンであると同時に、日本全国
の教育空間の1つのモデルとなり、
注目されるのは間違いないと思っ
ています。

